



新スタッフ紹介

サイエンスショー担当の学芸員補助スタッフ2名が、4月から活躍中です。

はじめまして。大熊千彩と申します。私は子どもの頃から科学が本当に好きで、大阪市立科学館に何回も足を運んでいました。訪れる度に必ず新しい発見ができ、私に理系を志すきっかけをくれた場所です。

サイエンスショーの仕事の募集を見た時、これは是非チャレンジしてみたいと思いました。実際に研修に入ると、分かりやすく言葉で伝え、実験と実験を自然に繋げる動作や言い回しなど山のように勉強することばかりでした。

まだまだ修行中の私ですけれども、スタッフの方々にいろいろな事を教えていただきながら、毎日とても充実した日々を送っています。

これからも科学の楽しさを伝え広めていくお手伝いをさせていただければと思っています。よろしくお願ひします。 **おおくま ちさ(学芸員補助スタッフ)**



はじめまして、宮脇佳那と申します。

私は小学生のとき、星空を見上げたことをきっかけに科学に興味を持ち、大学では物理を勉強しました。大学で勉強するうちに、科学は、自分ひとりでやるよりも、みんなで考えみんなで「分かった！」となるほうが楽しいと思うようになり、様々な形で大阪市立科学館と関わらせて頂くようになりました。見て楽しい、そして、考えて楽しいサイ

エンスショーは、大人も子供も、科学が好きな人も苦手な人も、みんなで楽しめるものだと思います。実際にサイエンスショーをしてみると、お客様の表情から、考えたりひらめいたりする様子がわかります。日々、改善の連続ですが、お客様と一緒に考え一緒に楽しめるサイエンスショーができればと思っています。

科学の面白さを伝えるという仕事は、難しいですがとても楽しく、この仕事ができることをうれしく思います。これからもこの気持ちを忘れずに、自分の役割をしっかりと果たして行きます。よろしくお願ひします。

みやわき かな(学芸員補助スタッフ)

